

飲むヒアルロン酸「皇潤」やニュージーランド産深海ザメの肝油を使った「さめぎもボセイドン鮫肝海王」などを販売するエバーライフ（福岡市、浅井克仁社長）は、昨年12月、本社と関連企業およびコールセンターを同市中央区天神に移転。2月3日、マスコミや取引先などに対しコールセンターが公開された。

2フロアで構成されるコールセンターは、約300人のオペレーターが全国からの注文や質問に対応するほか、「カスタマーフレンド」と呼ばれる既存顧客専任の担当者が“生涯顧客、づくりを目指している。また、コールセンターの壁一面には顧客一人ひとりの夢が書き込まれた「夢カード」が貼られ、その実現のために社員が一丸となって取り組んでいる。



引き続き行われた事業方針発表会では、これまでの同社の歩みを踏まえながら、今後は科学的根拠に裏付けされた商品開発を行うことが発表された。浅井社長は「ストレスや過労、喫煙など外的要因から起こる体内の酸化が老化を招くことはすでに実証されて

おり、当社はこれを防ぐ新商品として3月以降に5種類の健康食品を新発売する予定だ。“センスオブエタニティー（永遠という感性）”と名付けた新商品は、桜の花エキスを成分化したものにカルシウムやレスベラトロールを加えたまさにアンチエイジングを科学した新商品で、ぜひ期待してほしい」と意気込みを話している。